

平成30年度

湯沢砂防だより

No.48

平成30年10月25日

国土交通省 湯沢砂防事務所

水理模型実験の研修会を開催しました！

●水理模型実験の見学(実サイズの70分の1)



砂防施設の形状、
水や土砂の流れ方を
観察

模型実験をみる
ことで、実際に
施工するイメ
ジが湧きました。

●災害発生時の状況を実スケールで疑似体験できるVR・AR体験

VR:コンピュータの作り出す仮想空間を、現実のように知覚させる技術

AR:コンピュータを利用して、現実の風景に情報を重ね合わせて表示する技術



砂防事業に関する水理模型実験の職員向けの技術研修会を、10月11日(木)～12日(金)にかけて、茨城県つくば市(日本工営(株)の実験施設)にて開催いたしました。

今回は、洪水が発生した場合、砂防堰堤の有無や砂防施設の形状の違いで水や土砂の流れ方どのような変化があるのか見学しました。

また、災害発生時の状況を疑似体験できるVR・AR等の体験をしました。今後、このような技術を用いて、多くの方に災害の恐ろしさや、身の守り方などを考えて頂けるようになることが期待されます。

これからも、安全・安心を確保するため、よりよい川づくりを目指すと同時に防災力の向上に尽力して参りたいです。